

第2回安曇野市地域福祉計画推進・策定委員会 会議概要

1	審議会名	第2回安曇野市地域福祉計画推進・策定委員会
2	日 時	令和5年3月29日 午前10時から午前11時45分まで
3	会 場	安曇野市役所 4階大会議室
4	出席者	尻無浜会長、山崎(徳)副会長、山崎(博)委員、深井委員、池田委員、八田委員、小澤委員、酒井委員、依田委員、西澤委員、青柳委員、細萱委員
	<事務局>	安曇野市社会福祉協議会 地域福祉課 大澤課長、秦泉寺主幹係長 稲越まちづくり担当係長
5	市側出席者	鳥羽部長、上條課長、丸田係長、務台主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人 1 人	記者 0 人
8	会議概要作成年月日	令和5年3月31日

協 議 事 項 等

1 開 会 (進行：上條課長)

2 会長あいさつ (尻無浜会長)

限られた時間の中で、第3期計画の検証、第4期計画の策定を行うことになるが、委員の皆様のご協力をお願いしたい。

3 福祉部長あいさつ (鳥羽部長)

本来であれば、初回の会議でごあいさつを申し上げるところですが、所用により出席できなかったため、今回この場をお借りしてごあいさつさせていただきます。

市では、地域福祉の推進のため、平成20年度に第1期計画を策定し、住み慣れた地域で誰もが安心して生活できるよう、地域福祉の充実を図ってきた。その後も計画を更新し、第3期計画からは、市社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画と一体的に計画を策定し、理念を定めた市の計画と、活動をまとめた社協の計画を、地域福祉の両輪として推進してきた。

地域福祉を取り巻く社会環境は変化を続けており、少子高齢化の進展はもとより、地域住民のつながりの希薄化、社会的孤立など、生活課題が複雑化、多様化している。

これらの課題に対応し、誰もが暮らしやすい地域共生社会の実現に向けて、今後の5年間にわたる地域福祉の指針として第4期計画を策定していきたいと考えている。

計画策定にあたり、委員の皆さまより活発なご議論をいただき、安曇野市らしい地域福祉計画の策定のため、お力添えを賜りますようお願いする。

4 協議事項

(1) 第3期計画の検証状況について

①全体の進捗状況 (資料1)

(丸田係長) 資料に基づき説明。

(委員からの質問、意見)

⇒質疑なし。

②各主体別の検証

- ア 行政 (資料2)
- イ 市社協 (資料3)
- ウ 区 (資料4)
- エ 支部・地区社協 (資料5)
- オ 福祉団体・民間事業者等
- カ 市民(アンケート) (資料6)

(丸田係長)(秦泉寺主幹係長)資料に基づき説明。

(委員からの質問、意見)

(西澤委員) 社会福祉協議会の基本施策評価シート1ページ、基本施策 1-1-1 83 区の支援体制の充実、No.6 事務事業名 あいさつ運動の内容に「顔の見える関係づくりと安心して暮らせる地域を目指したあいさつ運動を実施する。」とあるが、どのような取組をしているのか。

社会福祉協議会に行くことがあるが、以前は職員からあいさつしてくれていたが、今はこちらからあいさつしないと、職員はあいさつしてくれない。あいさつを徹底する環境づくりをお願いしたい。

(回答)

(大澤課長) 社会福祉協議会の基本施策評価シート18ページ、基本施策 2-2-1 子育てしやすい環境整備、No.12 事務事業名 あいさつ運動の実施(支部社協事業)あいさつ・見守り運動をご覧いただきたい。

取組は子供を対象にしており、小学校、中学校、認定こども園、社協堀金支所前で登校、登園の児童生徒とあいさつを交わす内容で、何かあった時にしっかり繋がることができるきっかけづくりにもなる取組である。

第4期計画に向けた方向性としては、支え合い、助け合う社会づくりを目指し継続が適当、朝の気持ち良い挨拶で登校・登園の事故を防ぐと共に、地域のこども達は地域で守る安全・安心事業。旧堀金村時代より続く地域に密着した継続すべき模範事業。として評価させていただいた。

一方で今の時代は知らない人にあいさつすると、怪しい人だと思われる場合もあるのだなと感じた。

(山崎委員) 区の第3期計画の検証は、区長会の事務局である地域づくり課で原案を作成したとあるが、区長さんたちの意見をどの程度把握をされて、どのように反映されたのかお聞きしたい。

(回答)

(丸田係長) 各区が実施した事業に対して、地域づくり課で区等交付金活を交付しているが、その際に各区ではどのような事業を実施したか報告する形となっており、各区で実施した事業を拾い上げ、検証に繋げている。

- 区で実施した事業を区長会としての取組としてまとめた形となっている。
- (細萱委員) 83区の活動は様々だが、共通する活動もある。
- 区長の代表者が意見交換しながら現状を把握し検討をしてきた。
- (青柳委員) 民生児童委員は市と連携をして、住みやすい地域を作っていくことが使命だが、現実は大変難しい。
- どうすれば地域住民の皆さんが日常的に困らない地域を作っていけるか考えている。
- (八田委員) アンケートの質問内容だが専門用語は理解が難いため、質問内容にもう少し具体的な事業名を示されたほうが良いのではないかと。
- 回数と人数だけではなく、どんな効果があったのか検証されないといけない。そのようなアンケートにしていただきたい。
- (小澤委員) アンケートについてお願いがある。
- 福祉団体、民間事業者等かなり幅広くなっている。
- 第4期計画には福祉団体、民間事業者等が地域でどういう役割を担えるか計画に反映されれば良いと考えている。その辺について参考になるようなアンケートにしていただくとありがたい。本業の他に、地域福祉活動への取組状況がわかるような質問をお願いしたい。
- (尻無浜会長) アンケートについては委員の皆様にも再度認をさせていただく機会を設け、実施していきたい。

場合によっては検証のスケジュールがずれ込むことも考えられる。

5 その他

(1) 今後のスケジュールについて (資料7)

(2) 長野県地域福祉支援計画について (参考資料)

(丸田係長) 資料に基づき説明。

(委員からの質問、意見)

⇒質疑なし。

6 閉会

(山崎副会長) かなりタイトなスケジュールだが第4期の計画の策定に向けよろしくお願ひしたい。本日はご苦労さまでした。